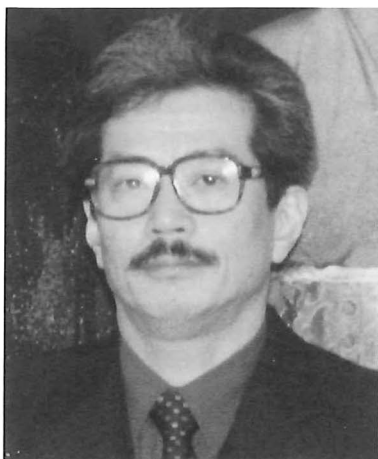


追 悼



故 古川良三氏

略歴

生年月日 1942 年 4 月 17 日

免許取得 理学療法士(1967 年 8 月)

作業療法士(1970 年 4 月)

業務歴

名鉄病院理学療法室 1963 年 4 月～1964 年 2 月

名鉄病院下呂分院 1964 年 3 月～1972 年 4 月 14 日

愛知医科大学附属病院中央リハビリテーション部

1972 年 4 月 15 日～1993 年 1 月

業績

〈理学療法士協会役職〉

東海士会会長 1972 年～1974 年, 1977 年～1978 年

東海士会理事 1971 年～1976 年

愛知県士会理事 1979 年～1993 年 1 月

第 9 回日本理学療法士学会会長 1974 年

学会評議員選考委員長 1974 年～1983 年

協会表彰審査委員長 1983 年～1986 年

協会本部事務局長 1983 年～1990 年

協会本部理事 1981 年～1982 年, 1991 年～1993 年

〈中部リハビリテーション専門学校教務〉

教務主任 1982 年～1983 年

教務顧問 1983 年～1993 年

故古川良三君を偲ぶ

松村 秩 | 東京都立医療技術短期大学

あなたと会って別れた翌朝、あなたのあまりにも急な訃報に接し、信ずることもできず、深い悲しみに沈んだのは 1 月の晦日でした。久しぶりに会ったあなたはとても冗舌で、仕事、家族、将来のことなどをいっになく多く話題にして語り、楽しく過ごした半日でした。そのときのあなたの姿が最後で、あまりにも慌しくあなたは逝ってしまいました。

人生 50 年という時代がありましたが、あなたは享年 50 歳にしてあまりにも多くのことをやり遂げるとともに、あまりにも多くのことをし残して逝ってしまいました。

思えば、1970 年東海士会は全国に先がけてファシリテーションを取り上げて、あなたは現職者講習会に責任者として精力的に取り組んでいました。あのときが若き日のあなたとの出会いの始まりでした。

1974 年、若干 33 歳で第 9 回学会会長としての重責を務められ、その準備のために上京されて、一緒にあちこち奔走したことがありましたね。

1982 年には中部リハビリテーション専門学校の開校準備を実質的な推進者として、その開校に精力的に取り組む、活動されました。

あなたの教育に捧げる情熱は素晴らしいものがあり、私学のもつ特色をフルに発揮し、多くの門下生を育てました。門下生とのあいだに強く結ばれた師弟愛

はまことに羨ましいほどのものがあり、そのことは中部リハビリテーション専門学校の同窓生の大きな絆になっています。

あなたのすぐれた企画力、実行力は愛知医科大学においても如何なく発揮され、学長をはじめ大学主脳部のあなたに対する信頼はこの上ない大きいものがありました。新しいものに対するあくなき挑戦はスポーツ医学に及び、その成果は大学の新しい施設である運動療育センターとして結実しました。

あなたのもつ類まれな経営者感覚能力は、日本理学療法士協会理事そして事務局長として抜群の手腕を発揮され、またあなたの調整能力には抜きん出たものがありました。

協会が大きな困難に遭遇したときのあなたの存在はとても心強いものがあり、私の会長時代には幾度か助けられたことがあります。

あなたの幅広い人とのつながりと渉外力は、協会運営にとってとても貴重でした。その能力は国際協力においても発揮され、中国との理学療法の交流に多大な貢献がありました。中国からの留学生受け入れに積極的に取り組まれて北京の国立リハビリテーションセンターから感謝されました。人の何倍かの仕事をし、疾風の如く速くこの世を駆け抜けた男、それがあなたでした。ゆっくりとお休みください。